

愛着創造学部 「程よい距離感で「心地よい」地域の見守り意識の醸成と育成」について

<p>①参加しやすい環境について</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり懇談会に参加していない人へも周知していく</li> <li>・開催の告知について、SNS など様々な媒体を活用して行っていく</li> <li>・移住してきた人は人とのつながりを求めている人が多いと思われるので、移住してきた人へ参加について働きかけていく</li> <li>・行政区長に働きかけていく（関心が高いと思われるため）</li> <li>・程よい距離感はイメージが難しいので、もっとイメージしやすいテーマであれば、参加につながると思う</li> <li>・子育て世代が参加する場合は託児スペースも必要と思う</li> </ul>
<p>②プログラムの内容について</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・押し付け感がない関わり方について</li> <li>・「見張り」にならない「見守り」となるような内容</li> <li>・自分自身にも関係する問題であると感じられる内容</li> <li>・将来の生活を考え、どのようなことに地域のつながりが必要になるのかについて</li> <li>・「見守り＝役割」が増えるではなく、助け合いや支えあいの意識や必要性が実感できるプログラム</li> </ul>
<p>③その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状に地域のつながりに希薄感がないので、見守りが課題なのか疑問</li> <li>・程よい距離感が難しい</li> <li>・日頃の人間関係が出来ていれば、いざとなった時の程よい距離感につながると思う</li> <li>・日頃から日常生活の中で話しをするなど地域で集まれる機会も必要なのでは</li> <li>・地域での見守り意識が安否確認や災害時などにも必要になっていくと思う</li> <li>・介護保険をはじめとする公的サービスが始まるまでは、地域での支えあいが行われてきたが、現在はだんだんと薄れてきていると感じる</li> <li>・行事が減ってきて、つながりが薄くなっている感じがする</li> <li>・かまってくれないと思っている人もいるので、難しさもある</li> <li>・担い手という言葉がどのような人材、年齢層なのかイメージがわからない</li> <li>・最終的にどのような人材・担い手を育成していくのかわかりづらい</li> </ul>